



関口雄揮記念美術館 所蔵作品展

光の風景

2014年2月22日（土）～6月22日（日）

※月曜日休館（祝日の場合は翌火曜休館）

開館時間 / ～3月30日（日） 10:00～16:30（入館は16:00まで）

4月1日（火）～ 10:00～17:00（入館は16:30まで）



関口雄揮記念美術館

光の風景

表の作品：《雪原遙か》（部分）2000 年
※ 学芸員によるギャラリートツアー 随時受付

雨上がりの厚い雲間を縫って差し込む光芒、錦秋の山々や曠野を燃えるように染めあげる残照、遙か雪原の彼方から春の気配を運ぶ明るい日差し…季節や時刻によって様々に様態を変えながら、光は風景と密接に関わり、その印象を大きく変容させます。むしろ風景は、そうした種々の光の作用によって成立していると言っても過言ではないでしょう。関口は特に、強いコントラスト（明暗差）のある風景を好み、そのため、光の表現を生涯にわたって追求し続けました。そしてやがて、白い雪と黒い影とが強烈なコントラストを生み出す冬の北海道の風景との出会いを経て、光の表現を完成させます。本展では、そうした関口が描き出した光の風景の世界をご案内します。



《雨後》1965 年



《彩る》2003 年

◎第2展示室・第3展示室：スケッチ特集

第2展示室では、関口のフランス留学時代のスケッチを紹介します。当初関口は、線を主体とする日本画的な技法からの脱出を目指して、西洋画の陰影や色彩の技法を習得する事を試みました。しかしそうした試みは、反転して、関口に線による表現の有効性を気付かせます。そのため当時のスケッチからは、陰影や色彩の表現とともに、力強い線が入り乱れる様子を窺うことができます。第3展示室では、さらに時間を遡り、関口の学生時代のスケッチを紹介します。早くから画家の指導を受けていた関口の画技は驚くほど高く、中学生の頃にはすでに独自の表現を模索し始めていたかに見えます。これら、関口の原点とも言えるスケッチの数々をご覧ください。



留学時代のスケッチ 1954 年頃



中学生時代のスケッチ 1936 年

◎お知らせ

●施設工事についてのお知らせ

関口雄揮記念美術館では、2014 年 1 月～6 月（予定）にかけて、施設の整備のための工事を行います。そのため本展会期中、展示室の一部閉鎖、または騒音などによってお客様ご迷惑をおかけする場合がございます。何卒ご理解とご協力のほどお願い申し上げます。

●開館時間変更のお知らせ

4 月 1 日以降は夏期営業となり、開館時間が変更されます。
開館時間 10:00～17:00（入館は 16:30 まで）

◎Cafe ボザール

館内併設のカフェ。明るく開放的な空間で、周囲の景色を楽しみながらご休憩いただけます。カフェのみでもご利用いただけますので、お気軽にお立ち寄りください。

Menu

コーヒー	¥500
ココア	¥600
抹茶	¥600
フルーツハーブティー	¥450
レモンスコーン	¥250
抹茶シフォンケーキ	¥400
アイス 3 種盛り	¥500
他	



◎ご利用案内

入場料金

	大人	大学 専門学校生	中高生	小学生	幼児
通常	¥800	¥600	¥400	¥200	無料
リピーター ※1	¥600	¥400	¥200	¥100	無料
芸森 ※2 / 団体 ※3	¥700	¥500	¥300	¥100	無料

※1 当館入場券の半券をお持ちの方 ※2 札幌芸術の森美術館の観覧券をお持ちの方
※3 15 名様以上の団体

敬老優待（要敬老手帳）¥600 障害者優待（要障害者手帳）通常料金の半額 前売り券 ¥600

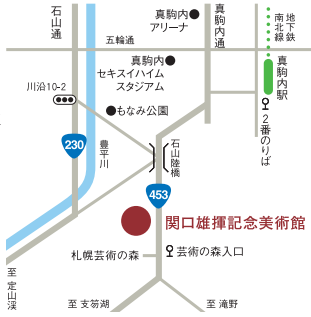
アクセス

◎地下鉄・バスをご利用のお客様

地下鉄南北線「真駒内」駅バス 2 番乗り場より
中央バス乗車（約 14 分）「芸術の森入口」下車
真駒内方面へ徒歩 1 分

◎お車をご利用のお客様

札幌市街中心部より国道 453 号線を南下
支笏湖方面へ（約 40 分）
専用駐車場あり



関口雄揮記念美術館

〒005-0853 札幌市南区常盤 3 条 1 丁目（芸術の森入口）
TEL 011-593-5050 <http://www.sekiguchi-muse.jp/>